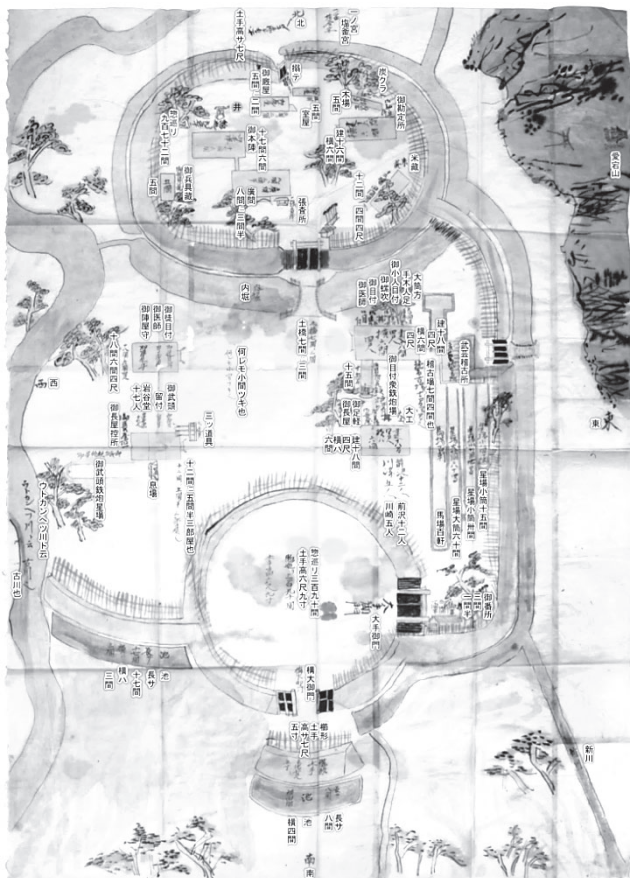


「北海道遺産」 選定記念 令和5年度仙台藩白老元陣屋資料館特別展

「幕末と明治維新を生きた北の防人 仙台藩白老元陣屋」

会期：7月15日(土)～8月13日(日)



仙台藩白老元陣屋が、道民が次の世代に大切に引き継ぎたい自然、歴史、文化、生活、産業など有形・無形の北海道の宝物「北海道遺産」に選定（令和4年10月）されたことを記念し、仙台藩白老元陣屋の果たした役割を検証するとともに、北海道遺産としての認知度の向上と理解促進を願った特別展です。

全国の博物館施設などに収蔵されている同陣屋の絵図面26点を一堂に集めました。同館収蔵の絵図面8枚は6月、新たに町有形文化財にも指定されました。

同陣屋は安政3（1856）年、蝦夷地警衛のために幕府が仙台藩に命じて構築した、道内でも規模の大きな陣屋です。慶応4（1868）年に勃発した戊辰戦争により藩士たちが撤退するまでの12年間にわたり存続した北の防人たちの痕跡を、絵図面から解き明かします。

【関連事業】

▼7月15日(土) 13時30分～15時

展示解説講演会「仙台藩白老元陣屋 柵木不在説の素性」

講師：佐藤宏一さん（仙台市郷土史家）

▼7月16日(日)、17日(月/祝)、30日(日) 11時～12時

ギャラリートーク「仙台藩白老元陣屋を描いた絵図面」

講師：武永真さん（仙台藩元陣屋資料館館長）

※特別展の観覧は無料ですが、入館料（高校生以上300円
小中学生150円、町民無料）が必要です。

問い合わせ：同資料館（☎0144-85-2666）



資料館館長）
（武永真・仙台藩白老元陣屋
ってやみません。
果たした仙台藩士たちへの新
たな理解が図られんことを願
もに、幕末の蝦夷地に陣屋を
築き、北の防人として重責を
たした役割を再検証すると
して、仙台藩白老元陣屋の果
たした役割を再検証すると
す。絵図面一点一点の比較を通
るとも興味深く面白いもので

のことから、さまざまな同様の絵図を比べると、「なるほど」とその意図にうなずく、
なのに、どうしてこれほど違うのでしょうか。絵図面は、描かれた時代や背景、目的、作者などにより、その表現方法や記載内容が異なります。このことから、さまざまな同様の絵図を比べると、「なるほど」とその意図にうなずくとともに興味深く面白いもので



このたび、
仙台藩白老元陣屋が念願の北海道遺産に

選定されました。本特別展はこれを記念して、全国の博物館施設などに収蔵されている「仙台藩白老元陣屋の絵図面」26点を一堂に集めました。